

春に骨は最も脆くなる

人知はすべてに優り、人は過ちを犯さないと考へてゐるところも、もうともらしい顔で、春から夏は紫外線が強いので、昼間の外出は控えるよつと考へてゐるところも、思えない知識人と称する人が、しかし春に紫外線が強まるのは、身体機能を健全にする自然の恵みです。

確かにわが国の陽光の紫外線量には明らかな季節変動があり、秋から冬は春から夏の四分の二から五分の一しかなく、その結果、春は年間を通してビタミンDは最も欠乏し、そのため骨は最も脆くなっています。このビタミンD欠乏状態は春の陽光を浴びれば、紫外線の作用で解消されますので、脆くなつた骨が人々はすべてを生き返らせる春の陽光に、当世風の知識人など及びもつかぬ力があることを

本能的に感じ取り、陽光の恵みを一杯に受けて喜々としています。このよだな恵まれたわが国の気象環境が、日本人の健康寿命を世界一にした一因であり、春に骨は最も脆くなる

人知はすべてに優り、人は過ちを犯さないと考へてゐるところも、もうともらしい顔で、春から夏は紫外線が強いので、昼間の外出は控えるよつと考へてゐるところも、思えない知識人と称する人が、しかし春に紫外線が強まるのは、身体機能を健全にする自然の恵みです。

確かにわが国の陽光の紫外線量には明らかな季節変動があり、秋から冬は春から夏の四分の二から五分の一しかなく、その結果、春は年間を通してビタミンDは最も欠乏し、そのため骨は最も脆くなっています。このビタミンD欠乏状態は春の陽光を浴びれば、紫外線の作用で解消されますので、脆くなつた骨が人々はすべてを生き返らせる春の陽光に、当世風の知識人など及びもつかぬ力があることを

健康と光線

発行所
〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18
サナモア光線協会
年4回発行 会費年500円
電話 東京(03) 3793-5281
3712-5322

春の陽光と紫外線の恵み

—ビタミンD欠乏症を解消—

サナモア光線協会 サナモア中央診療所

医学博士 宇都宮 光明

これを忌避するように勧めるのは、健康をドブに捨てろと言つてゐるのに等しいのです。

骨粗鬆症を予防する ビタミンD所要量

まん。そこで闇雲に紫外線の害を強調したい人の中には、顔と手に10分も浴びれば十分と言つてゐる人がいます。また魚で摂れるから母乳しか飲めない乳児の日光浴は必要ないと正氣とは思えないことを言つてゐます。

しかし骨粗鬆症を予防するには、このような戯言に惑わされることはなりません。実はビタミンD所要量について世界的に統一

骨粗鬆症は、殊に中高年女性を中心に、今や国民病と言つてゐる過言ではありません。この骨粗鬆症を予防する上で、ビタミンDの腸管からのカルシウム吸

が必要なビタミンDを補えるのは紫外線だけ

自然環境に適応した生物が生きられる、この至極当たり前の

された基準はなく、日本と歐米でも大きく異なっています。日本でのビタミンD所要量は、くる病を起さない一日100IU(第6次改定日本人の栄養所要量)とされていますが、歐米では軽症のビタミンD欠乏症による骨粗鬆症を考慮して、一日400~800IUは必要であり、高齢者はこれでも足りないとされます。これは軽症なビタミンD欠乏症が副甲状腺ホルモン(PTH)の分泌亢進、すなわち二次性副甲状腺機能亢進症を招き、骨粗鬆症の原因になると考えられるからです。

特に高齢者のビタミンD欠乏症の頻度は、従来考えられていました以上に高いとされ、所要量を再評価すべきとの意見が強まっていきます。因みに付け加えれば、欧米人のカルシウム摂取量は日本人との食習慣の違いから不足する人はまずありません。

ビタミンD過剰症があり、必要な量を確実に与えることは容易ではありません。言つまでもなく魚で必要量を摂ることも困難です。ビタミンD所要量に学問的には未解決な点があるとしても、今すぐ出来る骨粗鬆症の予防対策は、充分に紫外線を浴びて必要にして充分なビタミンDを確保することです。紫外線はどんなに浴びても必要量以上のビタミンDは生成せず過剰症は起しません。この一事をとつても、自然が定めたルールに従うことの優位性は明らかです。

ことを忘れて自然環境を否定するかの如き言動に正当性はあるでしょうか。仮に是非を論じるなら、人が利便性を求めて創った人工環境です。紫外線との関連ではオゾン層を破壊したフロンです。しかし絶対に忘れてならないことは、紫外線によるビタミンDの生成は人知を超えた自然のルールであり、無視することは百害あって一利もないことです。

現在、日本で最も多く使われている骨粗鬆症治療薬はビタミンDで、医師は日光浴の替わりに投与しますが、重篤な副作用に高カルシウム血症を招来するビタミンD過剰症があり、必要な量を確実に与えることは容易ではありません。言つまでもなく魚で必要量を摂ることも困難です。ビタミンD所要量に学問的には未解決な点があるとしても、今すぐ出来る骨粗鬆症の予防対策は、充分に紫外線を浴びて必要にして充分なビタミンDを確保することです。紫外線はどんなに浴びても必要量以上のビタミンDは生成せず過剰症は起しません。この一事をとつても、自然が定めたルールに従うことの優位性は明らかです。

一病 息災

一病 息災

糖尿病性神経障害

サナモア光線治療院

院長 医学博士 宇都宮 正範

病気の解説

糖尿病の合併症のなかで最も発生頻度が高く、ケアーが難しいのが神経障害です。同じ三大合併症である網膜症や腎症に比べ、なおざりにされる傾向にあります。が、神経障害は感覚鈍麻や自律神経障害を引き起こし、生活の質の低下につながるため、注意が必要な合併症です。現在、糖尿病にみられる末梢神経障害で、患者にみられる末梢神経障害で、糖尿病以外の原因によるものを

「除ぐ」と定義されていますが、まだ確立されておらず、糖尿病以外の原因という規定が曖昧なこともあります。脊椎症との鑑別など、必ずしも容易とは言えません。また発生頻度は、疫学的な検討から、約30%とされていますが、1型糖尿病では、22.7%、2型糖尿病では32.1%と、若干2型糖尿病に多いようです。さらに神経障害は、加齢に伴い増加し、罹病期間に相関して上昇する傾向が示されており、糖尿病の罹病期間が5年末満の患

者では20.8%ですが、5年以上で36.8%にものぼるとされています。ただ、糖尿病性神経障害の発生から経過に到るまでの詳細については、罹病期間とともに増加すること、高血糖の状態に従い増加することなどの点以外はほとんど解明されていないのが実情です。

現在、神経障害は、遠位性対称性(多発)ニューロパチー、自律神経障害、単神経障害の三つに分類されていますが、障害された神経によって多様な病態を呈し、引き起こす症状も々です。その中で、遠位性対称性ニューロパチーによるグローブ・ストッキング型の手足のしびれは、多くの患者に見られる特徴的な症状ですが、この他、立ちくらみや失神を起こす起立性低血圧、恶心や嘔吐を訴える胃アトニーなどが知られています。また、糖尿病性下痢は水溶性で頻回、夜間睡眠中の便失禁などの特徴があり糖尿病性膀胱では、尿意の低下と膀胱の反射性収縮力低下を認め、下腹部膨隆、排尿困難、尿閉などが見られます。

病気と光線療法

光線療法は糖尿病の血糖コントロールを良好にする作用以外に、末梢神経の再生を促し、刺激伝導速度を改善する作用があります。このため、手足のしびれを緩和する効果や、自律神経機能を高めて、内臓の働きを調節することによって、胃アトニーや糖尿病性下痢、糖尿病性膀胱などを改善する効果が期待できます。

症 例：43歳、女性。

主 告：両側の足に認めるしびれ感と異常感覚。

起始・経過：10年前に糖尿病と診断され、以来、食事療法と運動療法に加えてインスリンを使用しており、合併症に、糖尿病性網膜症を認める。約1年前から、両足にしびれ感を自覚するようになったため、光線治療を受ける目的で来院。

治 療：①側臥位にて30分、4灯照射。腹部(BD)、腰部(BD)、膝から下腿(AB)、足裏(AB)。②仰臥位にて20分、4灯照射。左右の膝から下腿(BD)、左右の足部(BD)。

経 過：当初、光線治療直後には、しびれ感は一時改善するものの、効果が持続しなかったが、週に3回のペースで治療を続けたところ、半年経過した頃から、しびれ感は軽くなってきた。まだ症状は残存しているが、自宅での治療を並行して行い、症状は徐々に和らいできている。

第九期
サナモア光線治療師
養成講座のお知らせ

第九期サナモア光線治療師養成講座を、七月に東京にて開講します。光線治療院の開業を検討されています。

第十六回
「光と熱研究会」の
お知らせ

医療に関する話題の講演や
実験例の報告を中心とした研究
会を開催していますので、一般

vol.17

サナモア便り

宇都宮 正範

討されている方やサナモア光線治療について勉強したいとお考えの方は、是非、ご連絡ください。なお、詳細につきましては、サナモア光線治療院(03-5759-13710)までお問い合わせ下さい。

開講日程

7月8日(木)・9日(金)・10日(土)

講座内容

医学総論・関係法規
サナモア光線療法の基礎と生物学的作用
光線治療器のメンテナンス法
ルーフ式・マルチアーク療法の実践
開院のための準備

の「愛用者の方も是非ご参加下さい。なお参加は無料です。

日時..四月十日(土)
午後二時三〇分

場所..サナモア光線治療院
三階会議室

テーマ..脳血管障害

治療院/治療師
紹介

このコーナーでは、光線治療院を開業され御活躍中の先生方や、光線治療師の資格を取得され、光線療法の啓蒙・普及活動に携わっている先生方をご紹介させて頂いております。

サンルーム(写真)

(平成十六年三月三日開院)

院長..萩京子先生
住所..静岡県富士市本市場
電話..054560-1800

交通..JR富士駅徒歩十五分
一言..友人の紹介でサナモア光線療法に出会わせて頂き、

も体調がよく、こんなに六年になります。私自身、光線を照射してからとても

萩京子先生



も身体が軽くなるものかと驚きの気持ちでいっぱいだったことを覚えてい

ます。ただ、こればかりは光線を体験した人では、いとわからないことです。誰もが心から願っている「健康」という財産を、安全で、かつ、こんなにも自然な形から得ることができるサナモア光線療法を、一人でも多くの方に知つてもらうために、この度、自宅での治療から一步前進し、治療院の開業に踏み切ることにさせて頂きました。今後は、少しでも皆様の「幸せ」のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

◆募集◆

サナモア光線治療師

当協会の趣意に賛同され、
サナモア光線療法の普及に
ご協力頂ける方、治療院の
開業を検討なさりたい方は、
お問い合わせください

サナモア光線治療院

〒153-0063
東京都目黒区目黒1-23-11
TEL (03) 5759-3710
FAX (03) 5759-3720

数年来悩まされた腰痛が

光線療法で治った

神戸市 ウエノ光線療研

上野 健太郎氏報告

症例 56歳 男性 会社員
症状 数年前から腰痛を自覚し、近医整形外科にて腰椎椎間板ヘルニアと診断され、牽引治療などを受けてきたが、一向に改善しなかった。二年前、今までにない激しい腰痛を認めたが、痛みは徐々に増強し、自由に身体を動かすこともままならず、寝返りさえ打つことが困難となつた。医師からは手術を勧められたが、姉から光線療法を紹介され治療目的にて来所した。

療法経過 治療はABカーボンで、足裏20分、膝10分、腹部10分、背部10分を行い、次にBBカーボンで、腰を30分照射してから、集光して、再び腰部の腰を20分照射した。翌日からは自宅治療を開始。腰に対する照射は、必ず朝晩一回行うことを指示し、自分の腰痛は医者に頼らず自分で治すくらいの気持ちをもつて光線治療を続けるように

説明した。一週間後に痛みは軽くなり、二週間過ぎた頃には靴下を履くことも痛みを感じ

じずにできるようになった。さらに一か月後、いつの間にかテーブルに手を付かずに椅子から立ち上がることができるようになったことに気が付く。開始から二か月後に、自分ではすっかり治ったよう

に思いましたと電話連絡を頂いた。

が、再発防止のためにも光線療法を継続するよう指示した。

(TEL) 078-333-1351

三歳女兒のアトピー性皮膚炎が

福岡県春日市

育美健康光線療研

山崎 いく子氏報告

症例 3歳 女兒
症状 サナモア愛用者の孫さん。以前から顔以外の全身に湿疹がでていたが、搔きむしてしまい、赤く腫れあがり、皮膚から滲出液がでている状態であった。病院で処方される軟膏を塗つてもなかなか治らず、光線療法で治したいと照射方法を尋ねるために来所した。

療法経過 治療を始めるに当た

り、軟膏の塗布は中止するよう

指示。治療はAAカーボンにて、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

集光器を使用して、肘と肘の内側を各10分照射すること。特に

痒みの強い患部は、痒みが止ま

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

るしらないので滲出液も出なくな

り、正常な皮膚に戻ったが、症

状が重い患部は痒みがなかなか止まらないでどうしたらよい

かとの質問を受けた。そこで、

カーボンをACの組み合わせに

変更し、照射を続けるよう指示

され、

母親と一緒に来所され、あれ以

るまで照射することを指示した。

二週間後に電話で、症状が軽い

患部は、痒みも止まり、搔きむ

四ページから続く

患部である右腰部と右下腹部を痛みが軽くなるまで照射し、痛みが落ちいたら病院で精密検査を受けるよう指示した。

話で連絡を受いたが、病院では医師に、右の尿管結石と診断され、場合によつては、手術も考慮する。

体験報告

潰瘍性大腸炎を光線療法で治しました

江山志保様（25歳）報告

からは治らない病気だから安静にしてうまくこの病気と共存しなくてはならないとしか言われず、治療法はまだ確立されてないとのことでした。一向に良くならずに悩んでいる時に、知人からサナモア光線療法でこの病気が治った人がいるという話を聞き、どうせ医者からは治らないと言われていることだしと考え、病気は改善の兆しさえ見られなかつたにもかかわらず、一ヶ月で退院しました。

とりわけ油が全く摂れないため、エレンタールという流動食を水筒に入れて通いました。退院と同時にあさか治療院で光線療法を始めましたが、一時悪化し粘液の量が増えた時期もありました。でもこの治療しかないと思い、がんばって通い続けているうちに良くなつてくるのを感じました。半年ほどで体調も良くなり、外食でうどんが食べられる程になりました。今では、何の制限もなく生活できるようになりました、昨年はスペインへ15日間の旅行に行けました。

必要があると説明されたとのことであった。病名が明らかになり、それなら、さらに患部である右腰部から右下腹部を中心に光線療法を繰り返すが完全に消失した後、再度病院で検査を受けることを指示した。患者もできれば手術を避けたい一心で、連日、光線治療を受けたところ、数日後の再検査の結果で、

医師から、尿管結石は認められないので、おそらく尿道から排出されたのだろうとの説明をを受けた。後日、当院に報告を兼ねて来所されたが、今後の再発予防のためにも光線治療を行つた。最初に左側臥位とし、ABカーボンにて、大脛筋と右腰部、顔面に15分、次いで後頭部、右下

腹部、足裏に15分照射。その後仰臥位で、左腰部と右膝に15分右腰部と左膝に15分の照射を行ない、治療を終了した。患者はとても気持ち良かつたと言い、安心して帰宅したが、現在は光線療法を健康法として愛用され、家族皆で大変喜んでいる。

麻生律子光線治療師より一言
潰瘍性大腸炎は、青少年期に
多い疾患で厚生省特定疾患（原
因不明の難病）に指定されてい
ます。平成十五年三月に、炎症
性腸疾患市民講座（集まれ！ク

全自动光線治療器
はつらつさんと
ジョイントカードボン

（あさか治療院
TEL四八一四七四一四七八一

サンモアはカーボンの芯剤を完全燃焼させることで最も効果のあるスペクトルを含む光線を放射するように正面からカーボンをぶつける正面発光式を採用しています。そのため手動式のサンモア7号器・8号器では照射時間が十分強で切れ、長時間の照射にはご不便をお掛けしてしまいました。この点を改良したのが全

自動光線治療器は「つらつさん」で、照射時間は5分刻みで60分まで設定でき、時間に合わせてジョイントできるサンモアカーボンをつないでおけば、自動的にカーボンを送り安定した光線を放射します。

なおは「つらつさん」ご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧下さい。

なおはつらつさんご使用の際には、安全性を保ち、事故を未然に防ぐため、ジョイントカーボン以外のカーボンは絶対に使用しないで下さい。使用上の注意は、「はつらつさん取扱説明書」をご覧下さい。

と診断されて家に帰り、病院で
もらってきた薬を飲んだのですが
が、思うように尿は出ず、苦し
くなつてきました。その時、ふ
と思い出したのが、以前購入
したサナモア光線治療器でした。
急いで、A Bカーボンで患部に
30分くらい光線を照射したとこ
ろ、急に尿が出来始め樂になりました。
した。しかし、後日、病院で行つ
た血液検査で、前立腺癌の腫瘍

サナモアで排尿か
スムーズになつた

モア光線漫遊 体験記

マーカー(PSA)が、正常では4(ng/ml)以下のところ、15と高い値を呈しており、今後癌の検査も必要だと説明されました。そこで癌の検査まで二調整あつたので、患部にBDカーボンで毎日30分照射したところ、前立腺の精密検査の結果、どこにも悪性所見は認めないと、いう結果をもらいました。こんなに嬉しかったことは初めてでした。

サナモアさん
ありがとうございます

ありがとう

神戸市戎繁様

私は昭和六十三年よりサナキアと仲良くしております。一昨年七月より左足の膝が痛くなり整形外科で診察して頂いた結果、半月板が傷んでいるとのことで、しばらく通院して治療を受けたのですが一向に良くなりません。そこで、毎日朝晩二回、B.Cカーボンで10分ずつ膝を前後から照射したところ、今ではすっかり良くなりあんなに歩く

のが不自由だったのが嘘のよう
です。今では走ってバスに乗る
ことができるようになり、本当に
にサナモアなればこそと感謝の
気持ちでいっぱいです。そして
この頃では、毎日欠かさずに基
本照射を続けており、かぜもひ
かずに毎日を楽しく過ごしてい
ます。今では家族全員が、風邪
やけがなど様々なことに対し
て、サナモアを照射しています
が、良い結果を得て感謝感謝の
毎日です。また娘の家にも生家
の田舎にもサナモアを買ってあ
げ、大変喜んでもらっています。
本当にサナモアさんありがとうございます。

サナモア体験記募集

については体験記をお送りくださいますよう、お願いいだします。

（本紙の無断転用を禁止します。）

〒153-0063 東京都目黒区目黒4-6-18
サナモア光線協会 TEL(03)3793-5281
三七一二一五三二二二

サナモア光線協会は、太陽光線こそ健康を増進する自然の恵みの源泉であり、生命力を高めて病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、太陽光線に近似したフルスペクトル光線を放射するサナモア光線療法の啓蒙、普及活動に努めることで、国民の健康、福祉に貢献します。

サナモア光線協会は、サナモア光線療法に対する認知と評価を高めるため、一、季刊紙「健康と光線」の発行二、サナモア光線治療師の募集と育成の事業を行います。

The logo of the Samanar sect is a black and white illustration. At the top, the name "SAMANAR" is written in large, stylized, blocky Tamil characters. Below the name is a central sunburst or starburst symbol with many rays. On either side of this central symbol are two stylized human figures, possibly deities, in a seated or standing pose. The entire logo is enclosed within a thin rectangular border.

廿二七光線協會

サナモア光緑協会
医学博士 宇都宮 光明